

組付要領書及び部品表

Takakita

油圧駆動キット

油圧駆動キット		
適用機種	FL6001	239 号機～
	FL7601	153 号機～
	FL12001	249 号機～
	FL6002	1 号機～
	FL6003	
	FL7603	
	FL12003	
	FL6010	
	FL12010	



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**油圧駆動キット**の組付要領について記載してあります。組付前には必ず、この組付要領書をお読みの上、正しく組付けてください。また、ご使用前にはフレコンライムソーワ本体の取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに製品に取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

油圧駆動キットの組付け要領	1
作業時の設定	3

油圧駆動キットの組付け要領

油圧駆動キット

適合機種に該当するフレコンライムソーワをお持ちのお客様は、油圧駆動キットを組付けていただくと、PTO 駆動の代わりに油圧でアジテータを駆動することが可能となります。

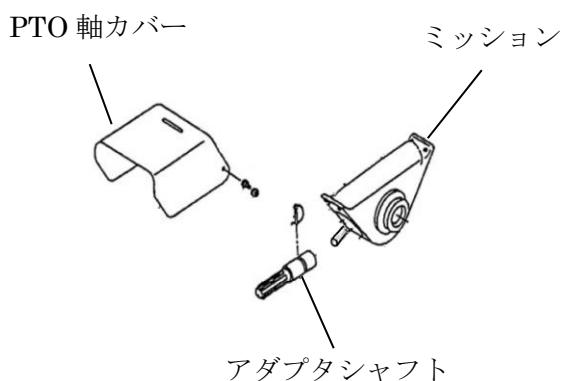
◆ 組付け手順



警告

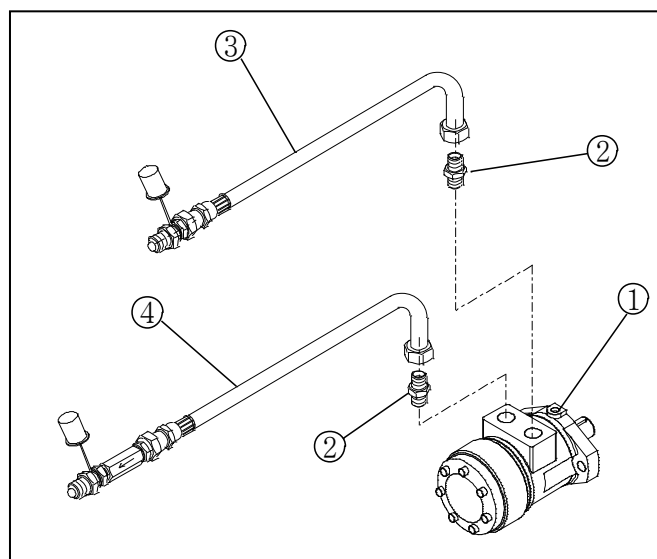
部品の取付け、取り外しを行う時は、PTO を切り、エンジンを停止させて回転部が止まってから行ってください。

- [1] 本機の PTO 軸カバー、ミッション入力軸に繋がれているアダプタシャフトを取り外します。



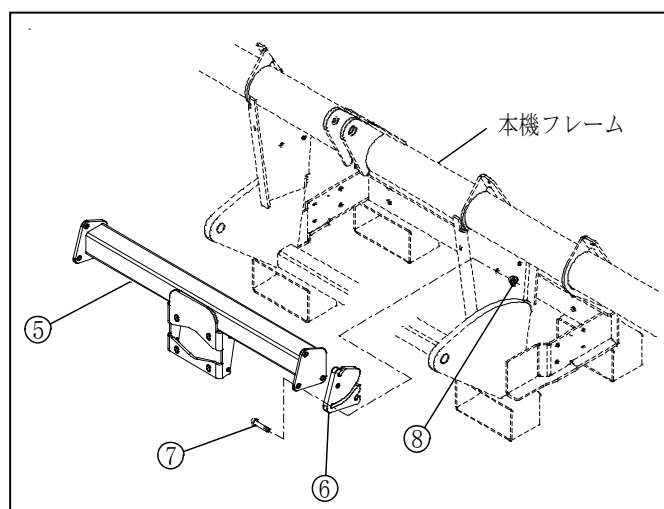
- [2] 油圧モーターに、油圧ホースを組付けます。

1. ①油圧モーターに、②コネクタを取り付けます。
2. ③の油圧ホースと④の逆止弁が付いた油圧ホースを図の通りに、油圧モーターへ繋がります。



- [3] 本機フレームに、モーターフレームを取り付けます。

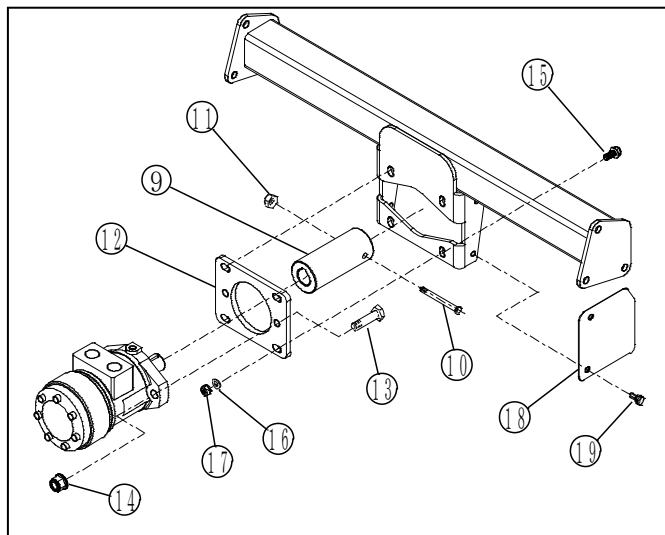
1. 本機フレームに⑤モーターフレーム、⑥スペーサー、⑦ボルト 10x40、⑧スプリングナット 10 を組付けます。



油圧駆動キットの組付け要領

[4] ミッションの入力軸に油圧モーターを接続します。

1. ミッションの入力軸に⑨カプラ、⑩ボルト 10x65、⑪ナイロンナット 10 を取り付けます。
2. 油圧モーターに⑫モータープレート、⑬ボルト 12x45、⑭ナイロンナット 12 を取り付けます。
3. ⑨カプラに油圧モーターの軸を接続し、⑮ボルト 10x35(PW 付)、⑯ヒラザガネ 10、⑰スプリングナット 10 を組付けます。
4. モーターフレームに⑱カバー、⑲ボルト 8x12(SW・PW 付)を組付けます。



注意

使用前に各部の組付けに誤りがないか、ボルト・ナット等が確実に締付けられているか、必ず確認をしてください。

注意

- 本機の装着後、トラクタのロワーリンクをゆっくり上げ、最大持ち上げ範囲まで各部が干渉しないことを確認してください。
- トラクタの3点リンクの持ち上げ規制装置で、上昇範囲を制限してご使用ください。

作業時の設定

◆ アジテータの回転速度

アジテータの回転速度は 10min^{-1} 以下で調整してください。

油圧流量 60L/分でアジテータの回転は約 10 回転となります。

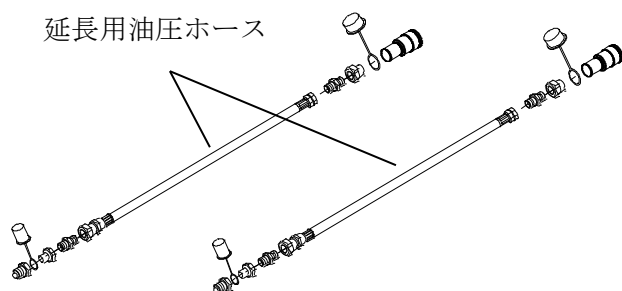
注意

可変ポンプを搭載した流量調整可能なトラクタを使用して下さい。

油圧流量が多すぎると背圧の上昇及び油温の上昇により、油圧モーターのシール部の破損及びトラクタに悪影響を及ぼします。

◆ 延長用油圧ホース

トラクタのフロント 3 点リンクに取付けて作業を行う際など、油圧ホースがトラクタの油圧カップラまで届かない場合は、付属の延長用油圧ホースを使用して下さい。



注意

トラクタのフロント 3 点リンクに取付けて作業を行う際は、粉状の肥料は使用しないで下さい。

トラクタのエアクリーナーが目詰まりして、トラクタに悪影響を及ぼします。